重要!
- No.4のシーンについては「カップリングショット」（59ページ）、No.5のシーンについては「プリショット」（61ページ）をご覧ください。
- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
- 被写体の条件によっては、充分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
- シーンを選んだ後から【SET】を押すことにより、シーンを選び直すことができます。
- 選んだシーンの各種設定内容は変更することができますが、シーンを選び直したり、電源を入れ直すと、設定内容は初期状態に戻ります。
- 夜景や花火のシーンなどシャッター速度が遅くなる撮影では、撮影した画像にノイズが発生するため、自動的にノイズ低減処理を行っています。このノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間がシャッター速度に比べて長くなります。

参考
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で撮影モードをベストショットモードに切り替えることができます（70ページ）。
- ベストショットモードで電源を入れたとき、または【◀】【▶】で撮影モードをベストショットモードに切り替えたとき、約2秒間、操作ガイドと現在選ばれているシーンのサンプル画像が表示されます。

撮影したいシーンを登録する（カスタム登録）

今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに読み込んで、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“BS ベストショット”を選び、【SET】を押します。
- シーンのサンプル画像が表示されます。

4. 【◀】【▶】を押して“新規登録”を表示させます。

5. 【SET】を押します。

6. 【◀】【▶】を押して読み込む画像を選びます。

7. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。
- 登録が完了します。
- 撮影できる状態になります。以降、56ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。

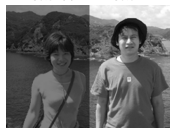
重要!
- 本機では、内蔵されているシーンのあとに「マイベストショット（カスタム登録したシーン）」の順番でシーンが登録されます。
- 内蔵メモリーをフォーマット（102ページ）すると、カスタム登録したベストショットモードのシーンファイルは消えてしまいますので、その場合は必要に応じてカスタム登録し直してください。

参考
- 登録される設定内容は下記の通りです。
  フォーカスモード、EVシフト、フィルター、測光方式、ホワイトバランス、フラッシュ光量、シャープネス、彩度、コントラスト、フラッシュモード、ISO感度
- 本機で撮影された画像からのみ設定内容を読み取ることができます。
- 登録可能件数は最大999件となります。
- 各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
- カスタム登録したシーンのファイル名は、QV-R41では「UQR41nnn.JPE（n＝0〜9）」と、QV-R51では「UQR51nnn.JPE（n＝0〜9）」となります。
- カスタム登録したシーンを消去したい場合は、ベストショットモードでシーンを選ぶときに、カスタム登録したシーンを表示させ、【▼】（⚡🗑）を押して削除するか、パソコンを使って内蔵メモリー内の「SCENE」フォルダ内から消去したいシーンのファイルを削除してください（119ページ）。

二人で記念撮影をする（カップリングショット）

一画面を2つに分けて2回撮影し、その後自動合成して1枚の画像にする機能です。他の人に撮影を頼むことができないときでも、全員揃って記念撮影できます。この機能はベストショットモード（56ページ）の中にあります。

- 最初の撮影
  撮影者以外を撮影する。

- 最終的な撮影
  背景の重なり具合を確認しながら撮影者のみを撮影する。

- 合成

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“BS ベストショット”を選び、【SET】を押します。

4. 【◀】【▶】で“カップリングショット”のシーンを選び、【SET】を押します。

5. 最初に、【液晶モニター】で【フォーカスフレーム】を左側部分の被写体に合わせます。
- カップリングショットでは、“AFエリア”（49ページ）が自動的に“スポット”になります。

【フォーカスフレーム】

6. 【シャッター】を押して、左側部分を撮影します。
- この撮影で下記の情報が固定されます。
  フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

7. 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている左側部分と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせます。
- 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。

半透明の画像

8. 【シャッター】を押して、右側部分を撮影します。

重要!
- カップリングショットでは、撮影時に内蔵メモリーまたはメモリーカードのどちらか使用している方のメモリーを一時的に使用します。メモリーの容量が残り少ないと、撮影中にエラー表示が出ることがあります。その場合は不要な画像を消去してから再度撮影してください。

好みの構図で記念撮影をする(プリショット)

プリショット機能は人に撮影を依頼するときに便利な機能です。この機能では一度の撮影で2回の撮影を行います。1回目の撮影で撮影画像を半透明の状態で【液晶モニター】上に表示し、2回目では表示されている半透明の画像を目安に最終的な撮影を行います。2回目に撮影した画像が記録されます。この機能はベストショットモード(56ページ)の中にあります。

• 好みの構図を自分で撮影

• 構図に合わせて他の人に撮影してもらう

• 2回目のみの画像が記録される

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

2. **"撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で"BS"(ベストショット)を選び、【SET】を押します。**

4. **【◀】【▶】で"プリショット"のシーンを選び、【SET】を押します。**

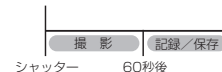
5. **最初に、仮撮影を行います。**
- この操作で撮影した画像は操作6で半透明で表示されますが、最終的にはカメラに保存されません。
- この撮影で下記の情報が固定されます。
  フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

6. **次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている背景と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせます。**
- 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作4に戻ることができます。

半透明の画像

7. **撮影します。**
- この操作で撮影した画像がカメラに保存されます。

動画を撮影する(ムービーモード)

一度に最大60秒まで動画を撮影することができます。

●ファイル形式：AVI形式
AVI形式は、Open DML グループが提唱したMotion JPEGフォーマットに準拠しています。

●画像サイズ：320×240pixels

●動画ファイルサイズ：約150KB/秒

●撮影可能なムービーの時間：
• 一度に撮影可能な最長時間：60秒
• 撮影可能なトータル時間：
  内蔵メモリーで最長約1分、64MBのSDメモリーカードで最長約6分50秒

1. **RECモードにして【MENU】を押します。**

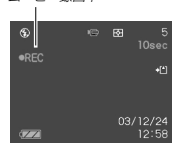
2. **"撮影設定"タブ→"撮影モード"と選び、【▶】を押します。**

3. **【▲】【▼】で"(ムービー)"を選び、【SET】を押します。**
- 「残りセット数」は、60秒の動画をあと何回撮影できるかを示しています。

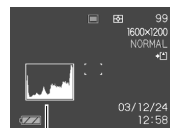
残りセット数

撮影可能時間

4. **撮影する被写体にカメラを向け、【シャッター】を押します。**
- 60秒間、動画撮影が続きます。
- 動画撮影中は【液晶モニター】に"残り撮影時間"を表示します。
- 動画撮影を60秒以内で終了させたいときは、もう一度【シャッター】を押してください。
- 動画撮影が終了したら、動画ファイルがカメラのメモリーに保存されます。
- 動画ファイルの保存を中止したいときは、保存中に【▼】を押した後、"消去"を選び、【SET】を押してください。

ムービー録画中

重要! • フラッシュは発光しません。

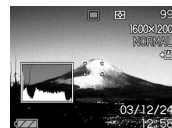
ヒストグラムを活用する

【DISP】を押して【液晶モニター】上にヒストグラムを表示させることにより、露出(光の量や明るさ)をチェックしながら撮影することができます(20ページ)。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。

ヒストグラム

ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムを見ると、補正するために充分な画像のディテールが画像のシャドウ(左側)、中間調(中央部分)、ハイライト(右側)に含まれているかどうかを確認することができます。もしもヒストグラムが片寄っていた場合は、EVシフト(露出補正)を行うと、ヒストグラムを左右に移動させることができます。なるべくグラフが中央に寄るように補正をすることによって、適正露出に近づけることができます。

• ヒストグラムが左の方に寄っている場合は、暗いピクセルが多いことを示しています。
  全体的に暗い画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎていると、黒つぶれを起こしている可能性もあります。

• ヒストグラムが右の方に寄っている場合は、明るいピクセルが多いことを示しています。
  全体的に明るい画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり右に寄り過ぎていると、白飛びを起こしている可能性もあります。

• ヒストグラムが中央に寄っている場合、明るいピクセルから暗いピクセルまで適度に分布していることを示しています。
  全体的に適度な明るさの画像はこのようなヒストグラムになります。

重要!
- 前記のヒストグラムはあくまでも例であり、被写体によってはヒストグラムの形が例のようにならない場合もあります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
- 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
- フラッシュ撮影による撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムによりチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。
- カップリングショット撮影時(59ページ)は、ヒストグラムは表示されません。

各種機能を設定する

RECモードにおいて、下記の機能を設定することができます。

- ISO感度
- 測光方式
- 色彩効果(フィルター)
- 彩度
- コントラスト
- シャープネス
- グリッド表示のオン／オフ
- 撮影レビュー
- 左右キー設定
- 各種設定の記憶(モードメモリ)
- 各種設定のリセット

参考
- 上記以外に、次の機能も変更できます。操作方法については各ページをご覧ください。
  - サイズ／画質(45ページ)
  - ホワイトバランス(54ページ)
  - フラッシュ光量(43ページ)
  - デジタルズーム(41ページ)
  - AFエリア(49ページ)

ISO感度を変える

暗い場所で撮影するときやシャッター速度を速くしたいとき、ISO感度が変更できます。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

- ISO感度とは、光に対する感度をISO(写真フィルムの感度単位)の数値で表したものです。数値が大きいほど感度が高くなり、暗い場所での撮影に強くなります。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"ISO 感度"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

- QV-R51の場合

感度が低い	ISO 50	ISO 50相当
↕	ISO 100	ISO 100相当
	ISO 200	ISO 200相当
感度が高い	ISO 400	ISO 400相当
	オート	撮影条件により自動調整します。

- QV-R41の場合

感度が低い	ISO 64	ISO 64相当
↕	ISO 125	ISO 125相当
	ISO 250	ISO 250相当
感度が高い	ISO 500	ISO 500相当
	オート	撮影条件により自動調整します。

重要!
- 同じ撮影条件下でISO感度を上げるとシャッター速度は早くなりますが、画像のノイズが増加しますので、きれいに撮りたいときはなるべくISO感度を下げてください。
- ISO感度を上げてフラッシュ撮影すると、近くの被写体の明るさが適正にならない場合があります。

測光方式を変える

測光方式の変更ができます。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"測光方式"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

マルチ(マルチパターン)：
画面の全体を分割し、それぞれのエリアについて測光します。測光結果の明暗パターンによって撮影環境をカメラが自動的に判断し、露出を決定します。様々なシーンで失敗の少ない露出が得られます。

中央重点：
中央部を重点的に測光します。カメラ任せではなく、自分である程度露出をコントロールしたいときに使います。

スポット：
センターのごく狭い部分を測光します。周囲の影響を受けずに、写したい被写体に露出を合わせることができます。

重要!
- "マルチ"設定時にEVシフト(52ページ)を行うと、測光方式が自動的に"中央重点"に切り替わります。EVシフトを"0.0"に戻すと、元の測光方式に戻ります。

色を変える(フィルター)

フィルター機能を使用して、撮影時の画像の色彩効果を変更することができます。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"フィルター"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
切／白黒／セピア／赤／緑／青／黄／ピンク／紫

参考
- フィルター機能を使うと、色彩効果用のレンズフィルターを装着して撮影したような画像になります。

彩度を変える

撮影される画像の色の鮮やかさを設定できます。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"彩度"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

色が淡く	低	色の鮮やかさが低くなります。
↕	標準	標準の彩度になります。
色が濃く	高	色の鮮やかさが高くなります。

コントラストを変える

撮影される画像の明暗の差を設定できます。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"コントラスト"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

平坦	低	明暗が平坦になります。
↕	標準	標準のコントラストになります。
クッキリ	高	明暗がクッキリします。

シャープネスを変える

撮影される画像の鮮鋭度を設定できます。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. "撮影設定"タブ→"シャープネス"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

柔らかく	ソフト	鮮鋭度が低くなります。
↕	標準	標準の鮮鋭度になります。
クッキリ	ハード	鮮鋭度が高くなります。

グリッドを表示する

撮影時、【液晶モニター】に方眼を表示します。カメラを水平や垂直に保つのに便利です。

1. RECモードで【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“グリッド表示”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：グリッドを表示します。
切：グリッドは表示しません。

撮影した画像を確認する（撮影レビュー）

撮影した直後に【液晶モニター】で撮影した画像を確認することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影レビュー”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。
入：撮影直後に【液晶モニター】に撮影した画像が約1秒間表示されます。
切：撮影した画像は表示されません。

左右キーに機能を割り当てる（キーカスタマイズ）

【◀】【▶】に、5つの中のどれか1つの機能の操作に割り当てることにより、操作しやすくすることができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“左右キー設定”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
- 【◀】【▶】で設定した機能が操作できるようになります。

撮影モード　：撮影モード（静止画／ベストショット／ムービー）が変更できます（134ページ）。
EVシフト　：露出値（EV値）が補正できます（52ページ）。
ホワイトバランス：ホワイトバランスが変更できます（54ページ）。
ISO感度　：ISO感度の変更ができます（66ページ）。
セルフタイマー：セルフタイマーの設定ができます（44ページ）。
切　：【◀】【▶】に操作を割り当てません。

参考 • 初期設定は“撮影モード”の操作となります。

各種設定を記憶させる（モードメモリ）

モードメモリとは、電源を切ったときでも直前の状態を記憶しておく機能です。電源の入／切で毎回設定をし直す手間がはぶけます。

●モードメモリで設定できる機能
撮影モード、フラッシュ、フォーカス方式、ホワイトバランス、ISO感度、AFエリア、測光方式、フラッシュ光量、デジタルズーム、MF位置、ズーム位置

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. 【◀】【▶】で“モードメモリ”タブを選びます。

3. 【▲】【▼】で設定したい機能を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：電源を切ったときにその時点の設定を記憶します。
切：電源を切ったときに初期設定に戻ります。

機　能	入	切
撮影モード	最後のモード	静止画
フラッシュ		オート
フォーカス方式		オート
ホワイトバランス		オート
ISO感度		オート
AFエリア		スポット
測光方式		マルチ
フラッシュ光量		標準
デジタルズーム		入
MF位置		MFに切り替える前の位置
ズーム位置※		ワイド端

※「ズーム位置」では光学ズームの位置のみを記憶します。

重要！
- ベストショットモードでは、シーンの選択をしたり、RECモードとPLAYモードを切り替えたり、電源のオン／オフを行うと、モードメモリが入／切のどちらに設定されていても、撮影設定（フラッシュ、ホワイトバランス、ISO感度）は各シーンの初期設定値となります。
- ムービーモードでは、モードメモリの入／切の設定に関わらず、フラッシュは常に発光禁止に設定されます。

各種設定をリセットする

本機の設定内容を初期値に戻すことができます。初期値については「メニュー一覧表」（134ページ）をご覧ください。

1. RECモードまたはPLAYモードで【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“リセット”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“リセット”を選び、【SET】を押します。
- リセットしない場合は“キャンセル”を選びます。

再生する

本機は【液晶モニター】を備えていますので、記録されているファイルを本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されているファイルを順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. 【▶】（PLAY）を押します。
- PLAYモードになり、再生できる状態になります。
- 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。

2. 【◀】【▶】でファイルを見ていきます。

【▶】を押す：進みます。
【◀】を押す：戻ります。

参考
- 【◀】【▶】を押し続けると、ファイルは早送りされます。
- 初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、すぐあとに精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像では、この限りではありません。

画像を拡大して表示する

撮影した画像を4倍まで拡大して表示させることができます。

1. PLAYモードにして、【◀】【▶】で拡大したい画像を表示させます。

2. 【ズームレバー】を“🔍”側にスライドさせて、画面を拡大します。
- 【液晶モニター】に現在の倍率が表示されます。
- 【DISP】を押すと、倍率などの表示のオン／オフができます。

拡大倍率

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で拡大した画像を上下左右にスクロールすることができます。

4. 【MENU】を押すと、画像は元の大きさに戻ります。

重要！
- 動画は拡大表示できません。
- 画像のサイズにより、4倍までの拡大表示ができない画像があります。